

7/15

環日本海時代の到来

富山ーウラジオストク便就航

環日本海交流の中核拠点都市としての発展を目指す富山県にとって大きな意味を持つ、富山ーウラジオストク便が、七月十五日に就航しました。

澄みきった青空のもと、空港エプロンで行わ

れた歓迎式・歓送式には、富山県とロシアの関係者約七十人が参加。歓迎式では、ウラジオストクで開催されていた環日本海インターハイから帰国した県選手団をはじめとする乗客に、記念品が贈呈されました。

また、出発便を送り出す歓送式では、ロシアを代表してアエロフロート航空副社長セリヒョールストフ氏が「地域レベルの交流は相互理解に大いに役立つ、真のパートナーシップをはぐくむことになる」とあいさつ。これを受けて中沖知事は「就航はロシア沿海地方との交流に大きく貢献する。真の隣人として相互理解を深めたい」と述べました。

昨年四月に開設されたソウル便に続くこのウラジオ便の就航で、富山空港の国際化に一段とはずみがつくことでしょう。

